

令和7年度 小樽市立西陵中学校 学力向上改善プラン

1 生徒の実態

- ① 全国学力・学習状況調査では、国語で2.1p、数学で6.5p 全国平均正答率を下回った。国語では「読むこと」、数学では「データの活用」の問題を苦手としている。
- ② 標準学力調査では、全国正答率と比較して国語で4.3p、数学で9.1p、英語で4.1p 下回った。達成率では国語は8.9p、数学は23.5p、英語で5.6p 下回った。
- ③ チャレンジテストでは、全道平均と比べて国語では1年生は10.4p 上回ったが、2年生で2.3p、3年生で5.6p 下回った。数学では1年生で2.4p 上回ったが、2年生で8.1p、3年生で3.7p 下回った。
- ④ 全国学力・学習状況調査結果（生徒質問）では、全国と比べ、平日・休日ともに1時間以上勉強する生徒の割合は高いが、平日の家庭学習が1時間未満の生徒が31.8%いる。

2 学年ごとの定着目標（数値目標）

<国語科>

学年	定着目標
1年	・チャレンジテスト2学期末問題全道平均以上とする。
2年	・標準学力調査の平均正答率を全国平均以上とする。 ・チャレンジテスト2学期末問題全道平均以上とする。
3年	・全国学力・学習状況調査の平均正答率を全国平均以上とする。 ・チャレンジテスト2学期末問題全道平均以上とする。

<数学科>

学年	定着目標
1年	・チャレンジテスト2学期末問題全道平均以上とする。
2年	・標準学力調査の平均正答率を全国-2p 以内とする。 ・チャレンジテスト2学期末問題全道平均以上とする。
3年	・全国学力・学習状況調査の平均正答率を全国-2p 以内とする。 ・チャレンジテスト2学期末問題全道平均以上とする。

<学習・生活習慣（家庭学習等）>

学年	定着目標
全学年	・「授業のルール」の生徒自己評価で「守っている」を9割以上にする。 ・「早寝、早起き、朝ご飯の生活リズムを整える」の生徒自己評価を7割以上にする。 ・全国学力・学習状況調査で「平日の家庭学習2時間以上」の生徒の割合を5割以上にする。 ・ゲームやSNS等、スマホを夜10時以降使用していない生徒の割合を7割以上にする。

3 目標を達成するための具体的な方策

（1）基礎学力の確実な定着を図る取組

- ① デジタルドリルの効果的な活用により、基礎学力の確実な定着を図る。
- ② 朝読書の時間の効果的に活用により、読解力・表現力の育成を図る。（新聞を読んで200字作文にチャレンジ他）

（2）確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ① ICTを活用した授業改善に取り組み、理解力の定着を図る。
- ② 授業のルール定着に全職員で取り組み、学習規律を徹底する。
- ③ 研究推進委員会を中心に、小学校と連携した授業力の向上を図る。
- ④ 各教科で確認テストやチャレンジテストを効果的に実施する。

（3）家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ① 家庭学習の推進と指導の充実（各学級・各教科）。
- ② 放課後補習及び長期休業補習（樽っ子サポート事業）の実施。
- ③ 小中一貫の視点から習慣形成に向けて家庭との連携を強める。

4 実施計画

年月日	計画内容
R7年4月	・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・学力向上検討委員会「確認テスト」下学年の実施 ・自学自習スケジュール表の取り組み開始 ・朝読書活動の定着への取組徹底 ・家庭学習の推進 ・チャレンジテスト（前年度サポート問題）の実施
	○R7全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査 自己採点 ○標準学力調査実施（第2学年）
5月	・研究推進委員会・各教科部会による計画検討 ○標準学力調査結果分析
6月	・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・朝読書との連携による「読書ゆうびん」作成
7月	・チャレンジテスト（1学期サポート問題）の実施 ・保護者・生徒アンケートの実施・分析
8月	・長期休業中補習（樽っ子サポート）の実施 ○R7全国学力・学習状況調査結果分析
9月	・全教科での授業交流と検証の取組 ○保護者への調査結果の説明 ○学力向上改善プランの評価・改善
10月	・「ほっと」の実施 ・公開研究会の実施
11月	・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・チャレンジテスト（2学期サポート問題）の実施 ・保護者・生徒アンケートの実施・分析
12月	
R8年1月	・長期休業中補習（樽っ子サポート）の実施 ・職員自己評価の実施分析
2月	・学力向上検討委員会「確認テスト」の実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施
3月	○新学力向上改善プランの作成 ・保護者・生徒アンケート分析結果公表（ホームページ等）

5 評価方法

- （1）① デジタルドリルの実施状況の確認による評価
② 全教科での授業交流や生徒アンケートによる分析
③ 国語科及び学校司書と連携した評価
- （2）① 全国的な調査結果の分析及び生徒アンケート結果の分析
② 生徒アンケート「授業のルール」の項目による評価
③ 校内研究授業における研究協議の評価
④ チャレンジテストや確認テスト等の分析
- （3）① 学級・教科担任による家庭学習内容等の評価
② 教科担任や学習委員会による活動状況の評価
③ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の質問項目による評価